

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年9月26日(2024.9.26)

【公開番号】特開2023-105401(P2023-105401A)

【公開日】令和5年7月31日(2023.7.31)

【年通号数】公開公報(特許)2023-142

【出願番号】特願2022-6189(P2022-6189)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 5 3

【手続補正書】

【提出日】令和6年9月17日(2024.9.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【請求項1】

連続演出(「連続演出」とは、複数回の連続する遊技にわたって実行される一連の演出を指す。以下同じ。)を備え、

全ての連続演出において、連続演出の途中の遊技(連続演出を出力する遊技のうち、タイトルを表示する遊技及び最終遊技を除く遊技に相当する。)では、ストップスイッチの第1停止操作を契機とする演出の分岐数の平均値は、ストップスイッチの第3停止操作を契機とする演出の分岐数の平均値よりも多く、

全ての連続演出において、ストップスイッチの第1停止操作を契機として出力される演出のうちの期待度が高い演出の数は、ストップスイッチの第3停止操作を契機として出力される演出のうちの期待度が高い演出の数よりも多い

ことを特徴とする遊技機。

30

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する(かっこ書きで、対応する実施形態の構成を示す。)。

本発明(第13実施形態)は、

40

連続演出(「連続演出」とは、複数回の連続する遊技にわたって実行される一連の演出を指す。以下同じ。)を備え、

全ての連続演出において、連続演出の途中の遊技(連続演出を出力する遊技のうち、タイトルを表示する遊技及び最終遊技を除く遊技に相当する。)では、ストップスイッチの第1停止操作を契機とする演出の分岐数の平均値は、ストップスイッチの第3停止操作を契機とする演出の分岐数の平均値よりも多く(たとえば図168の演出15中、1停での分岐数「2」に対し、3停での分岐数は「1」)、

全ての連続演出において、ストップスイッチの第1停止操作を契機として出力される演出のうちの期待度が高い演出の数は、ストップスイッチの第3停止操作を契機として出力される演出のうちの期待度が高い演出の数よりも多い(たとえば図168の演出15中、1

50

停でのチャンスアップ演出数は「1」(イベント「1504」)であるのに対し、3停でのチャンスアップ演出はなし)
ことを特徴とする。

10

20

30

40

50